

# 8がっのくもの子の会だより

〈H.28.7.22〉

毎日、厳しい暑さが続いています。  
地震のつぎは、梅雨の大雨、そして、猛暑...と、自然環境の  
なみや、次々とおしよせてきているようです。

今年は特に、みなさん、身体が休まる時がないのではね...  
8月、どこまで気温があがったの猛暑となるかわかりませんが、  
夏ならではの楽しみも味わいながら、なんとか夏バテせずに、  
のりきりしたいものです。

くもの子の会は、震災後、6月から再スタートしていますが、  
小さな森のこども園にて、うたをうたったり、動ける範囲でできる  
リズムあそび(部屋がせまいう)、わらべうたあそび、絵本の読みかき  
等の活動を行っています。7/29は、10:30から、毎年恒例の  
えうめん流し大会(20年以上やりつづけて)の、大いバトを  
行う予定です。参加申し込みが必要になりますが、どこから  
でも、0才~大人までどなたにも参加されていいです。ど、  
ど、気分転換にでもあそびにきてください。

## 「甘える」ということ

甘えなかったのに甘えられず、十分な愛情を受けないで育て  
きた中学生で、荒れている子は多いと思います。身体はす、かり大  
きい子が、学校で「先生、おんぶして」と言ってきたりすることがある



と言います。その子の心を考えるとかわいという話です。  
言うことは一人前だけれど、幼児期の肌と肌の  
触れあいというふうな体験をく、ていないからそう  
いうことを求めるのです。高校生とか、専門学校生になら  
もそういう子はいます。少なくとも中学、高校までは肌と  
肌の触れあいを大事にしないといけないと思、つ。

なにもそれは、ベタッとく、つくと、つてはなくて、  
ただ、高校生でも「た、だ、いま！」と帰ってきたら、  
「おか、えり！」とお母さんが飛びついていくぐらいのは  
やってあげていいのです。子どもが「お母さん、気持ち  
悪い」と言うなら、子どもが成長しているわけでは、ね。  
「おか、えり！」と言ったら、子どもが「た、だ、いま！」と抱きついて  
くる場合もあるのです。特に、子どもが、試合に勝、て帰、て  
きたら、「お母さん、やった、せ！」と子ども。そこで、お母さんは、  
パシと大きく握手して「す、い、い、あ、ん！」と、手に力をこめて、  
して、かきく、く、くする。これは「愛してるよ」というサインです。  
そういうオーバーな表現で、お母さんの愛情を子ども  
に示してや、てほしい。そうしないと、「私たちはあなたを愛  
しているよ」と言、ても、言葉だけでは信じられなくな、て  
いるのです。肌と肌の触れあいに象徴される愛情表現  
が大事です。子どもがてれくさ、うな考、験をしたら、あなたの  
愛は通じたのです。それは、中学、高校までた、だと思、つ。  
それ以上にな、つたら、そういう関係をとり返、つと思、つ。  
でも、とり返、せなくな、つてしまいます。(キ、レ、子、キ、レ、な、子  
石田一宏著、精神科医からのメッセージ)